



学校だより



6月22日号

江東区立第四砂町小学校

令和 8年 6月 22日

校長 太田 智恵

教科担任制について

校長 太田 智恵

先週は、雨があがると急に暑さが増し、プール日和となりました。ご家庭では、体調管理などご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本校では、5・6年生が令和6年度から引き続き「教科担任制」を、国語・社会・理科・体育で実施しています。

「教科担任制」の主な目的は、専門教科で教材研究を行うため授業の質が向上すること、多くの目で見守ることにより子どもたちの変化や良さに気づきやすくなること、中学校へのスムーズな接続ができることです。学校全体でも「学年全体で子どもたちを育てる」という意識で教育活動を進めています。低・中学年では発達段階に応じて、学年合同の学習や交換授業を行っています。今回は、5、6年生の最近の様子を一部紹介いたします。

【5年生国語科】

「言葉の意味に広がりがあるとき、どうやって伝える？」友達と意見を交わしながら、言葉の奥深さに迫る5年生。教科担任制による専門的な指導のもと、文章の「はじめ・なか・おわり」のつながりを論理的に捉え、全体の要旨を正しくまとめる力を養っています。対話する機会が、教室に広がっています。



【5年生社会科】

「日本の気候」について学習しています。「四季」「梅雨」「台風」「季節風」など、気候に関するキーワードから各自が問いを立て、個人やグループで調べ学習を進めています。自分に合った方法を選んで学習を進めています。驚いたことは、以前に比べてキーボード入力のはやくなりました。調べたことや自分の考えをどんどんと画面に打ち込んでいます。

【5年生理科】

「植物が発芽するための条件」を調べる実験をしています。この日は、観察して得られた結果をもとに、グループで話し合い考察をまとめているところです。子どもたちのノートを開くと、前の時間の実験手順や結果、結論がわかりやすくとまとめられていました。「振り返り」を見て、今日の結果と比較する姿もあります。



【6年生国語科】

6年生の国語「時計の時間と心の時間」の授業です。本文にある複数の事例の並び順について、「作者にはどんな意図があるのだろうか？」と考えています。個人で考えた後、グループで考えを伝え合います。最後の振り返りでは、「〇〇さんが、周りの人の考えの良いところを聞いていてすごいと思いました。」と発表しました。仲間の良さを認める姿が、学習の中でも見られるようになっていきます。しかし、「時計の時間と心の時間」、なかなか難しい教材です。



【6年生社会科】

社会科の授業では、江東区の公共施設について学習が始まっています。今日は、「どんな公共施設があるのか。」「なぜ、それらの施設が必要なのか。」について考えました。お互いの考えを伝え合う中で、「子育ての悩みを相談するため」「こどもを預かってもらって仕事に集中するため」「こどもが環境を変えて思いっきり遊ぶことができる」など、活発に意見を交換する姿が見られました。

【6年生理科】

6年生の理科では、「植物はどこから、どうやって水を吸い上げるのだろうか？」について予想しています。こどもたちは、自分のノートに描いた絵を基に、「ここから水を吸うと思うよ」「なるほど、そういう考えもあるね」と、熱心に自分の考えを伝え合っていました。友達と考えを伝え合うことで、学びがさらに深まっています。



【6年生体育科】

6年生の水泳の学習では、まず念入りに水慣れを行っています。こどもたちは「まずは腰まで」「次は首まで」と少しずつ水につかり、その後、頭まで潜ってペアの友達と水中でじゃんけんをして楽しむ姿が見られました。その後は、クロールや平泳ぎでどんどん泳ぐ練習をしています。今年度も、こどもたち一人ひとりが「自分のめあて(目標)」に向かって、安全に気をつけながら練習を重ねていきます。